

平成24年度 予算特別委員会付帯意見および回答

平成24年3月定例会後に町長に提出した付帯意見に対する回答が届きましたので皆さんにご紹介します。

意見1 町のホームページ 充実について

町をPRすることは物資の流通、或いは町の観光などで経済にも大きな効果が期待されることから、ホームページの充実が大事であるが、わが町の場合、何年経っても内容が更新されず不評である。専門の職員を配置し、町の情報を積極的に発信できるように改善すること。



当町のホームページは今年度リニューアルを予定している

実を図る。また、職員が進んで編集・更新を行えるようなシステム構築と職員研修を充実する。

意見2 財産の管理の 一元化について

現在、町の財産管理は管財課が行っているが、中には事業課が担当するものもある。これによって、町として財産管理に対しての考え方に違いが出たり、複数の部署で財産管理を行うという実態にある。

町の事務を明確にし、財産の管理を一元化して事務の効率化を図ること。

意見3 防災計画の見直し について

昨年の東日本大震災を教訓に、海岸部の避難困難な町民に対する対応を盛り込んだ町の防災計画を早期に見直しすること。



5/27に行われた防災訓練（岩館地区）



回答 海岸部の避難困難な町民に対する対応・対策については、様々な検討をしているが、今後専門家から指導や助言をもらいながら、防災計画に反映させていきたいと考えている。

意見4 男女共同参画 及び職員の メンタルヘルスの 強化について

新年度予算を見ると、男女共同参画や職員のメンタルヘルスの予算が少ない。町としての意欲が見えないことからもっと積極的な取り組みを行うこと。

意見5 避難階段の除排雪 について

昨年の大震災を受け、海岸部の避難階段の整備が急がれるが、冬期間の除排雪については自治会の協力を得ながら対応を考えておくこと。

冬期間の除排雪については、すでに設置している避難階段について自治会の協力を得て除排雪をしている箇所があるので、同様に自治会の協力を得ながら対応していきたいと考えている。

意見6 水道の大口利用者 の負担軽減 について

先の水道料金の改定によって大口利用者の負担が増えたことから、これに対して使用料の軽減を図ること。

意見7 建物の塩害対策に ついて

海岸近くにある公共施設にあつては、塩害によって施設の修理が頻繁に実施されている。建築や修理にあつ

る。簡易水道事業は特別会計であり、一般会計からの繰入を押さえるためにも現料金体系で実施するものとし、大口使用事業者には町内産業支援策として実施するのが望ましいと思われる。

また、平成21年8月の料金統一検討委員会の付帯意見として「新しい料金体系が実施されてから5年後に再検討が必要と考える」とされており、平成27年度に再検討する。



海岸近くにある八森保健センター

つては再度塩害対策を考慮すること。

回答 現在の公共施設のドアや窓等の潮風の吹き付ける金物は、塩害を考慮した資材を使用しているが、その枠や壁内鉄骨等については、塩害対策を考慮した施工となっていない。今後、新築にあつては防蝕処理をした資材の施工とし、塩害の対策を実施する。また、現施設の修繕